

2025~2030

IN-5

鳥取県の農林水産業では、仕事風景や日常生活を配信やVRでアピールすることが一般的となり、販売収入だけでなくコンテンツビジネスとしての収益化もできるようになる

概要

動画配信やVRの活用により、農林水産業が現場から離れた地域かつ初心者でも親しみを持ちやすくなり、ゲームと同じ階層のエンターテインメントとして浸透する。「推しの生産者」という概念が一般的となり、例えば投げ銭的な形で現地での水やりに対して課金したり、自らの労働力をギフトしたりすることでより強固なつながりがもたらされる。

また、台風や大雪等の自然災害の前に突発的に発生する収穫作業などを緊急ミッションに見立てて遠隔から支援を行ったり、早めに収穫した商品を率先して購入する関係性も生まれる。

変化のポイント(商品・サービス/価値観・行動/業界/などの変化)

いままでは

売る→買うの一方的関係



これからは

お互いのリソース（時間、空間、体験）を共有する双方的関係